

マイナス金利を脱却したECB

6月会合でのガイダンスを上回る0.5%ポイント利上げを決定

2022年7月22日

今後の政策金利はデータ次第、エネルギー価格がカギを握るか

ECB（欧州中央銀行）は21日の理事会で、主要政策金利を0.5%ポイント（以下、pt）引き上げること
を決定しました。27日から、主要リファイナンス金利が0.5%、限界貸出金利が0.75%、中銀預金金利が
0%となります。利上げは2011年7月13日以来、11年ぶりです。また、ユーロ圏内の金利格差拡大を是
正（市場分断を阻止）するための新たな債券買い入れ措置（伝達保護手段：TPI）を承認しました。

6月会合の声明では、「7月会合で政策金利を0.25%pt引き上げる予定」「中期的インフレ見通しが変わ
らないか悪化すれば9月会合でより大幅な利上げが適切になる」としていました。7月会合で予定の2倍の
0.5%pt引き上げとした一因は、政策金利の正常化（マイナス金利からの脱却）に向けてより大きな一歩
を踏み出すことが適切と判断したことです。また、ECBは、インフレ上振れリスクや金融政策伝達機能の
強化（TPIと「パンデミック緊急購入プログラム（PEPP）での柔軟な再投資」）も要因に挙げています。

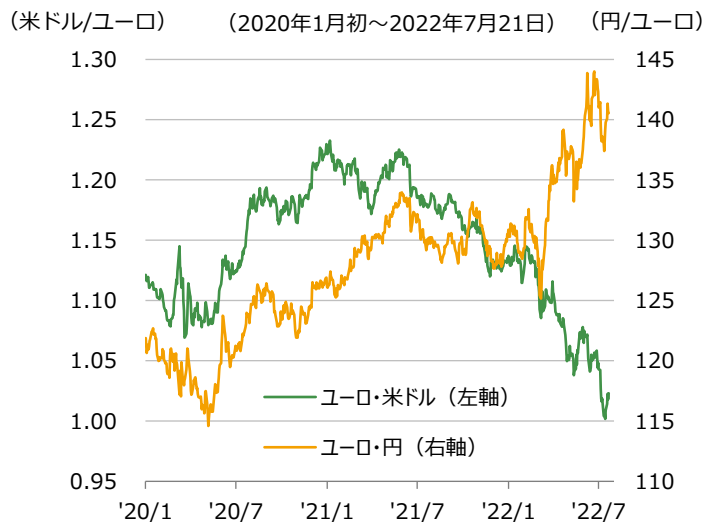
今後はさらなる政策金利の正常化（追加利上げ）が適切とし、政策金利経路はデータに依存するとしま
した。利上げ幅はインフレ上振れリスクが高まるか否かが焦点となり、インフレ圧力を高めてきたエネル
ギー価格の動向がカギを握るでしょう。景気減速でエネルギー価格が軟調となれば、9月は0.25%pt利上
げ（中銀預金金利のみ0.5%pt利上げ）の可能性が高いと見込みます。今回の大幅利上げにも拘わらず独
長期金利が低下したこと、市場のインフレ期待は低下し、大幅利上げ思惑も後退したとみられます。

ECBの政策金利とドイツ長期金利



(出所) ECB、リフィニティブより大和アセット作成

ユーロ・米ドルとユーロ・円



(出所) リフィニティブより大和アセット作成

当資料のお取り扱いにおけるご注意

- 当資料は投資判断の参考となる情報提供を目的として大和アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書(交付目論見書)」の内容を必ずご確認ください。
- 当資料は信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。記載内容は資料作成時点のものであり、予告なく変更されることがあります。また、記載する指数・統計資料等の知的所有権、その他一切の権利はその発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。